

がん教育事前打ち合わせシート [瑞浪市立瑞浪中学校]

日時及び場所	令和4年10月13日(木) 13:25~14:15 ※WEB	
事前指導内容 (指導済み☑)	<input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは(がんの要因等) <input checked="" type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 我が国のがんの現状 <input checked="" type="checkbox"/> エ がんの予防 <input checked="" type="checkbox"/> オ がんの早期発見・がん検診	<input checked="" type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生
事前・事後学習 (指導内容)	事前: 10/19 保健体育「健康な生活と疾病の予防」(ア~カ) 事後: 12/1 道徳「奇跡の一週間」(ク、ケ)	
本時のねらい (指導の重点)	身近な人が「がん」になった場合を想定した意見交換を通して、保健学習(がんの疾病概念や予防、早期発見の大切さ等)をもとに、自分にできることを考えることができる。(キ・ク・ケ)	
授業概要(主な学習活動)		講師の方へお願いしたいこと(☞)
1. 課題づくり・講師紹介 ・自分や身近な人が「がん」と知らされたとき、どのようなことを思うのか交流する。 ☞講師の紹介 2. 身近な人が「がん」と知ったとき、どのように思い、接するか、理由を含めて考える。 ・がんの経過初期と後期の2つの具体的なケースについて考える。 ☞生徒の意見への価値づけや、がんについての理解や緩和ケアについての補足説明。 3. 講師の話 ☞生徒と同世代のがん患者の事例を聞くことで自分の命の大切さを考える。 4. ふりかえり ・本時を振り返り、自分や身近な人ががんと診断された場合に、自分にできそうなことをまとめる。 ・今後の生活で自分の命も大切にすることについてまとめる。		☞日々どのような方と関わっているのか説明していただきたい。 ☞緩和ケアの初期と後期を比較して、同じ緩和ケアであっても後期になると大変苦しく辛いもの(身体的・精神的)を紹介していただきたい。生徒が健康や命の大切さについて主体的に考えることができるように、生徒の親世代の事例を紹介していただきたい。 ☞生徒が命の大切さについて考えられるように、同世代でも苦しい闘病があり、大変な生活を送っている方について紹介していただきたい。
		生徒の実態及び必要な配慮
		・過去にがんで家族を亡くした生徒、身内ががんと診断された生徒はいる。 →どの生徒も授業は受けたい、受けることに意味を感じているということだった。苦しくなったら別室へ行くことができることを伝えた。
授業当日までの準備		
<学校> <外部講師>		